

共通教育で学ぶこと

桑折範彦
全学共通教育センター長

歓迎します

新入生の皆さん、入学おめでとう。これからの新しい大学生活に期待しつつ、心を引き締めていることと思います。徳島大学は学ぶ君たちをエンカレッジし、学びを共にエンジョイしたいと思います。

大学で学ぶとは

大学で学ぶとはどういうことでしょうか。その意味・意義は何でしょうか。「一つは、あるまとまりのある知識を獲得すること、もう一つは、何かを為す能力を獲得すること」、これはシカゴ大学での初年次生へのテキスト「How to Study」に書かれていることです。知識と能力を共にバランス良く身に付けることが大切だということです。それによつて諸君は将来の職業など進路選択の可能性を広げることができ、また社会に貢献できるでしょう。更に、一方で学びの過程を通じて、自らの生き方を探り、その方向を定めていくことも可能になります。

徳島大学では1～2年次には主に共通教育の場で学び、次第に専門分野の学習に進みます。学部・学科を

目指して入学したのに、専門分野の授業が少なく共通教育の科目を学ばなければならぬのは何故かと思う人も居ると思います。それは、社会に貢献できる専門的知識や能力は、共通教育の場で学ぶ幅広い学問分野の学習に基づいた総合的な判断力によつて裏打ちされてこそ、その力が発揮できるためです。授業において単に何かを覚えることを目指すのではなく、その元となる考え方、その知識を創り出す方法などを、広く学ぶ必要があります。

学びのプロセス

図に入学から始まって卒業までの「大学での学習の流れ」を示してみました。中心の太い線には専門分野の知識を修得していく流れを、左側には実践的な能力を総合的に養う流れを、また右側には幅広い学問分野を学び人間性や教養を培う流れを示しています。共通教育は入学時の「大入門」と「学部基礎」を結ぶ輪にある科目と入学から卒業まで継続する右側の教養科目から専門教養に至る「人間性の広がりを培う科目群」をカバーしています。

共通教育では

共通教育の授業を大きく分けると(1)大学での学修の基盤形成をする科目群、(2)幅広く様々な学問分野にわたつて学ぶ教養科目群、(3)専門分野を学ぶ準備としての基礎教育科目群の3区分になり、図に示したような位置付けになります。皆夫々意味づけがされていますが、ここでは共通教育の中でも重要な科目群である教養科目について説明します。

教養科目には、人文科学分野、社会科学分野、自然科学分野の多彩な



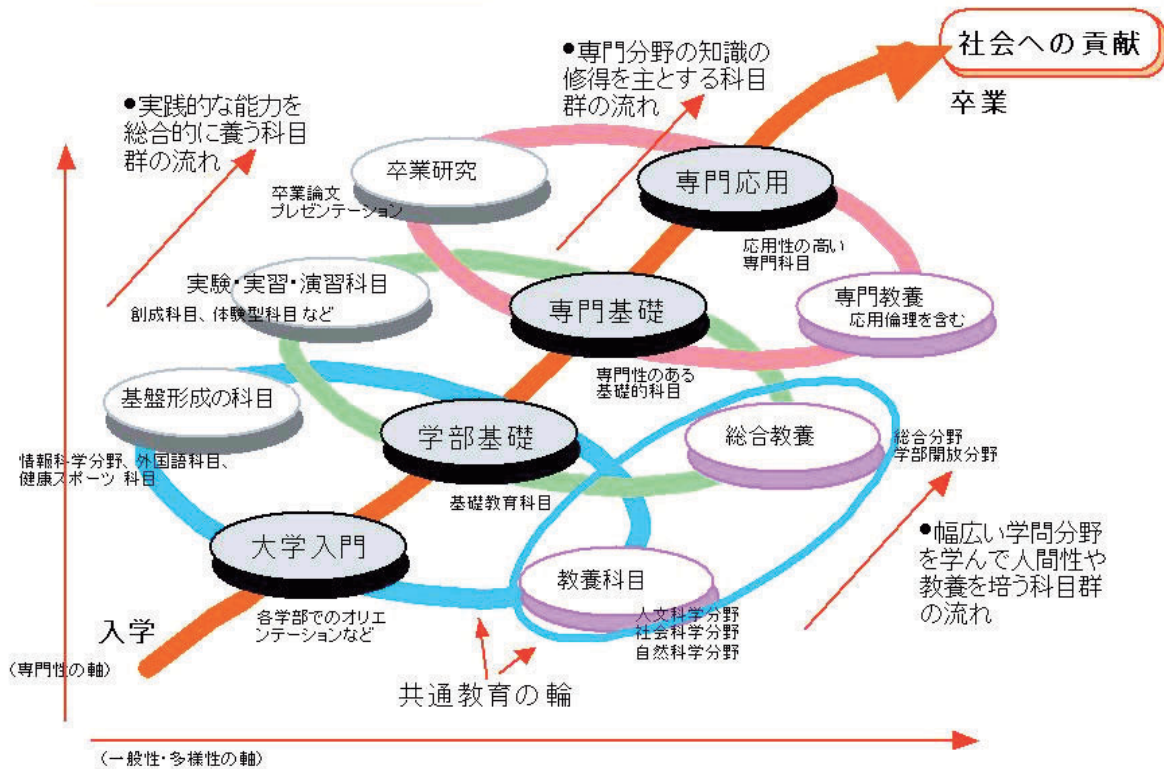
L.L 教室での英語授業風景

科目があり、各学部から提供されている総合科目なども含まれていますが、科学技術を学び応用する時、人間自身や社会のことを切り離しては考えられませんし、それらについて深い洞察がなければ新しい有意義な発展はないでしょう。また、社会や経済、人間や歴史を学ぶ場合でも、自然や科学技術についての理解がなければ、私たちの生活や社会に活かすことができません。ですから、共通教育において教養科目を学ぶことは、いずれ社会人・市民として社会に貢献するため、様々な問題についての分析力、探求力、解決力の基盤となります。

一方、このような学びの過程で実践的な能力を養うことも、授業の中に組み込まれています。授業では、ノートの取り方、本の読み方、報告文（レポート）の書き方、発表の仕方など、「ハウ・トゥー」が沢山必要とされます。そうした能力は課題を演習したり、自習したりすることの中でトレーニングされますので、授業で出される課題に真剣に取り組んで欲しいと思っています。

何を学び、何を問題とし、何を求め、といった中身を充実、蓄積することを怠りながら、同時に学びの八

大学での学習の流れ
【入学から卒業まで】



付属図書館内風景

ウ・ツウ」も身に付けることができる。これからの大学での学びで大切です。始めに示したように、知識と能力を共にバランス良く身に付けることが大切だということです。その始まりが「共通教育」にあります。

新入生の皆さん、自ら積極的に教員や友人に働きかけると、すばらしい応答があると思います。大学での学びをエンジョイしてください。教員の方々は皆さんのアプローチを待っています。徳島大学で意義ある学生生活を送りましょう。